

これからの普通の精神科病院、 普通の精神科クリニックのための 精神科デイケアについて

日本デイケア学会第25回年次大会 大会長 西脇 健三郎
医療法人志仁会西脇病院 理事長・院長

この30年(平成の時代)、国際社会は大きく様変わりをしてきました。それに伴い、わが国も『ジャパ・アズ・ナンバーワン』から『成熟した普通の国』への変革が求められています。もちろん、私たちが携わる精神科医療においても日々、身近に感じる「少産、長寿化」、「疾病構造の変化」が治療、回復援助の在り方にも様々な影響を与えているはずです。しかし、国や精神科医療機関、精神科デイケア施設等々、そんな状況に十分対処できていないといった思いがあります。何故でしょうか。一つには、進歩が著しいバイオテクノロジー、情報テクノロジー双方の活用と、そこで生じる副作用に対する理解と取り組みが精神科医療分野ではまだ低調である、とっていいのではないのでしょうか。また今一つ、急速な「少産、長寿化」、「疾病構造の変化」への対応も、その対策を急ぐあまり技法等がマニュアル化、パッケージ化に終始し、実効が伴っていない、といった感が否めません。そんな二つの課題を踏まえ「第25回年次大会長崎大会：広がりをもせる多様な精神科疾患 求められる精神科デイケア ～温故知新～」を2020年10月1日、2

日に佐世保市のハウステンボスで開催いたします。ここでは「対人交流を豊かに、一日のリズムを整え、規則正しい生活を送る」といった従来の精神科デイケアから、一歩踏み込んだ「煩わしく、疲弊をもたらす対人関係、そして時間に縛られる日常生活への対処」も話題とし、これからの精神科デイケアのあり方について活発な意見交換、討論を行いたいと準備をすすめているところです。多数の方々のご参加をお待ち申し上げます。

広がりをもせる
多様な精神科疾患
求められる精神科デイケア
～温故知新～

■ 2020年10月1日(木)・2日(金)
■ ハウステンボス
長崎県佐世保市ハウステンボス1-1
長崎県立大学・サテライト・ハウステンボス
■ 西脇 健三郎 医療法人志仁会西脇病院
医療法人志仁会西脇病院
〒859-8273長崎県佐世保市本郷2-14
TEL: 095-827-1187 / FAX: 095-822-8336

ごあいさつ
2020年、長崎で日本デイケア学会年次大会を開催いたします。
21世紀になって多岐目的都市の形になります。日本ではこの
発展を受けて、精神科医療は、多岐目的の一つとして育ち始めているようにもなっています。もちろん、それ精神科医療の関
関によるものです。そして、その対象となる疾病構造も時の流れ、社会変化の中で大きく様変わりしています。
そんな環境下で精神科医療への対応を踏まえ、これまでの「対人交流を豊かに、一日のリズムを整え、規則正しい生
活を送る」といった精神科デイケアから、煩わしく、疲弊をもたらす対人関係、そして時間に縛られる日常生活への対処と、
一歩踏み込んだ精神科デイケアの在り方について情報交換を行ってみたいと思います。
そこで、大会テーマは「広がりをもせる多様な精神科疾患、求められる精神科デイケア～温故知新～」としました。
開催は2020年10月1日(木曜日)、2日(金曜日)会場は長崎県、ハウステンボスです。ぜひ、準備をすすめています。
皆さまの参加をお待ちしております。そして何日にも関わらず、学び合います。
ばってん、ハウステンボスやけん、遊び心も持ってこんね!
※「ばってん」でも、しかし、サッちゃんやけん、遊んでみよ～併せていっしょに!

長崎大会最新情報は
公式ホームページ
<https://daycare25nagasaki.org>
をご覧ください

日本デイケア学会第25回年次大会長崎大会 大会長 西脇 健三郎

日本デイケア学会 第25回年次大会長崎大会のご案内

大会テーマ

**広がりをもせる多様な精神科疾患
求められる精神科デイケア
～温故知新～**

大会長

西脇 健三郎 (医療法人志仁会西脇病院理事長・院長)

会期

2020年 10月 1日(木) ～ 10月 2日(金)

会場

**・ホテルオークラJRハウステンボス
・ハウステンボスタワーシティ (ハウステンボス園内)**
(学会参加費に入園チケットも含まれております)

ホームページ

<http://daycare25nagasaki.org>

演題募集について

デイケアに関する演題を広く募集いたします。募集期間、募集要項につきましては、大会ホームページをご参照ください。

事前参加登録について

登録期間、詳細につきましては、大会ホームページをご参照ください。また、会期当日から週末にかけては市内の宿泊施設の混雑が予想されます。ご自身での確保を予定されている場合は、お早めの予約をお勧めします。

研修単位の認定について

本大会は日本精神神経学会専門医資格更新にかかる単位の取得ができます。

連絡先

【日本デイケア学会第25回年次大会長崎大会事務局】

医療法人志仁会西脇病院

〒850-0835 長崎県長崎市桜木町3-14

TEL: 095-827-1187

E-mail: info@daycare25nagasaki.org

日本デイケア学会第24回札幌大会を応援 していただき、ありがとうございました。

日本デイケア学会第24回年次大会 大会長
医療法人社団ほっとステーション
大通公園メンタルクリニック院長

長谷川 直実

「技あり!デイケア!~現場で使える技術と私たちの矜持~」を大会テーマに掲げた日本デイケア学会第24回札幌大会は、皆様のご協力、ご支援により、無事に終了することができました。ここに改めて御礼申し上げます。

就労移行支援事業所や地域活動支援センターなどがあればデイケアは不要ではないかといったデイケア不要論がささやかれることもある昨今、私たち実行委員は、デイケアではこんなにもすごいことができるんだということを大きくアピールしたいと考え、本大会を企画してきました。多職種協働で働く皆さんにもっと自信を持ってもらいたいと考えていたのです。

このようなコンセプトで企画した「現場で使えるシリーズ」は、SST、動機付け面接、解決志向アプローチ、条件反射制御法、集団精神療法、森田療法など豊富なラインナップを用意しました。大会二日目の午後の遅い時間でも、会場となった北星学園大学の各教室が、学びたい熱意にあふれた多くの参加者の方々に埋まっているのを見たときは本当に感動しました。

市民公開講座「認知症と注文を間違える料理店(和田行男先生)」、特別講演「精神科デイケアにおけるケースマネジメント(藤井千代先生)」、「分子生物学者が見た病のイニシエーション(糸川昌成先生)」、教育講演「地域包括ケアにおけるデイケアの役割(原敬

造先生)」、「ピアスタッフが精神科デイケアで勤務する意義(肥田裕久先生)」と各講演も大変充実した内容で大好評でした。お忙しいところ、ご講演をお引き受けくださった先生方、シンポジウムに参加してくださった方々、一般演題で発表してくださった方々、ありがとうございました。

新しく企画した「プログラム実演発表」については、他の医療機関のデイケアプログラムを体験できる面白い機会を提供できたと思います。発表してくださった皆さん、初めての企画であるにも関わらず、ご協力いただき、ありがとうございました。また、これも新しい企画であった「応援ランチオン」には、就労支援事業所と精神障害者スポーツサポータークラブが登場し、デイケア以外の活動を知るよい機会になったと好評でした。

快く、会場スペースをお貸しいただいた北星学園大学の先生方にも深く感謝を申し上げます。

実行委員として企画に取り組んだ私たちには、北海道内の連携だけでなく、全国、そしてお隣の韓国の同じ志を持った方々との絆という贈り物をいただきました。大切にしていきたいと思います。

この幸せな気持ちを持って、次回の長崎大会で皆さんと再びお会いできることを楽しみにしています。

札幌大会印象記

北の大地で馳せる思い

中嶋 夕湖

私は、精神科デイケアに所属して5年目になり、デイケア学会への参加は3回目になる公認心理師です。所属1年目、自分の為すべき事が把握できず、縋る思いで参加した2014年東京大会。所属3年目、自分の役割に悩み、迷いを抱えながら参加した2017年秋田大会。そして所属5年目、自分の技術を磨きたいと、期待に胸を膨らませて参加した2019年札幌大会。振り返ってみると、毎回私にとって節目、節目の年にデイケア学会で学ぶ機会を頂いて来たように思います。

本学会参加においては、臨床技術を磨くことや知見を深める事を目的とし、『精神科デイケアにおけるケースマネジメント』、『現場で使える集団精神療法』、『現場で使える解決志向アプローチ』等の講演やワークショップを中心に参加して来ましたが、正に現場で活かせる実践的な内容のものばかりでした。日々の現場で生じる問題や支援者としての悩み等を共有できた事、諸問題に対する創意工夫や助言を経験豊富な先輩方から聞けた事は、非常に有意義でした。また、ワークショップ『デイケアとリハビリ』においてデイケアメンバーの方々と、デイケアの長所と短所について率直に語り合った事は、強く印象に残っています。メンバーの方々は、デイケアの様々なプログラムに参加することによって、仲間や集団で行動する体験ができた事、経歴や現況に拘ることなく対等な人間関係が築けた事、生活リズムが整った事、再び希望を持てた事等を評価されていました。一方、残念だと感じた事や不満に思っている事としては、外出プログラムを計画する時に気象情報の勘案や対策が不十分な事や、スタッフが常に忙しそうなの為相談を持ち掛けにくい事、メンバー同士あるいは、スタッフとの相性への細やかな配慮が不足している事への不満等が、挙げられていました。メ

ンバーの方の話の中で、「デイケアは人生の土台作りの場」という言葉や、生々しい体験談を聞いていると、改めて、デイケアの在るべき姿や自分の職務として為すべき事をもっと多面的に、そして、もっと深く考察していかなければならないと思いました。

国の基本理念「入院医療中心から地域生活中心へ」の実現のため、デイケアは地域生活を支える重要な社会資源になっています。デイケアは、医療とリハビリテーションを提供するだけではなく、安心・安全な場であり、リハビリの場であり、多くの人たちの希望が詰まった再チャレンジの場になっています。時代の潮流に伴い診療報酬の改定が行われ、デイケアも新たな局面を迎えていますが、1958年日本で最初のデイケア創設以来、精神科デイケアの必要性は揺ぎ無く存在していると、本学会へ参加する度に感じています。

常々、私はデイケアメンバーの方々から、病気や服薬の大変さ、日常生活の生きづらさだけでなく、病気以降の新しい出会いや、夢や希望、チャレンジ精神等、本当に多くの話を聞かせてもらっています。そんなメンバーの方々に対して、支援者としての信念をしっかりと持ち、本学会で学んだ知識や技術を現場で活かし、微力ながらもメンバーの方々への支援に役立てていきたいと思っています。

最後になりましたが、ご多忙の中、大会運営にご尽力くださいました皆様に、心から御礼申し上げますと共に、大変貴重な学びの機会を頂きましたことに感謝申し上げます。

(埼玉県立精神保健福祉センター社会復帰部社会参加支援担当 公認心理師)

札幌大会印象記

第24回年次大会札幌大会に参加して

日笠 糸重

この度、初めてデイケア学会に参加しました。大変多くの刺激を受け、勉強させていただいたことに感謝の思いでいっぱいです。また、当院の就労支援プログラムにおける実践報告-「チャレンジスクール」の歩み-の口演発表の機会を頂き、お世話になりました座長の先生には、重ねて感謝申し上げます。私たち自身が支援者として一度立ち止まり熟考することで見えてきたものも多く、大変に良い経験となりました。皆さまの実践報告も参考にさせて頂き、より精進して参ります。遠い岡山からの参加でしたが、発表後に当院近くの新しい事業所さまにもお声がけ頂き、発表の意義の深さを多角的に体感させて頂きました。

今回のタイトルに「技あり!デイケア!現場で使える技術と私たちの矜持」とあるように、皆さまが日頃より培ってこられた様々な専門的技術が光っていたことが何よりも印象的でした。また今大会から実演発表が加わったことにより、今後自分ができるプログラムの幅を広げたいと考えていた私にとっては大変幸運なことでした。当院以外のプログラムに実際に参加するという機会が初めてだったこともあり、純粋に思いっきり楽しませていただきました。主役を演じた「サイコドラマ」では、自身の恵まれた人間関係に改めて気づき感涙。「心のメンテナンスシート」では、自分が知らず知らず掛けている心のメガネをビジュアル化することで、楽しい気持ちで自身を見直すことができました。参加しながら「うちのメンバーも、きっと今の私が感じているように楽しめるんじゃないか」と想像が広がり、今後の支援に繋がる貴重な体験となりました。そして必要資料や情報提供、今後のフォローアップにも力を入れてくださっていたことに大変感銘を受け、実際に自身で挑戦したいプログラムの方向性を見出すことも

できました。また、「元気になること」を到達目標としたワークショップでは、斬新な実演講義にて「治療とは」「支援とは」「人間とは」等深く考えさせられる哲学的な内容で自身を振り返ることができ、今でもその時に綴ったノートを見返しながら支援をさせてもらっています。

会全体を通して、各先生方の経験に基づく深い知識、そしてクオリティの高い技術やアイデアなどを、正に矜持と言わんばかりに惜しげもなく提供して下さり、日本のデイケアを底上げし盛り上げたいという熱意を強く感じました。ここでは全ての感想を述べることができず残念ですが、どの部屋でも北海道の寒さを吹き飛ばす熱気に満ち溢れており、それがとても印象的でした。根底にある人から人へ繋ぎ、育む教育精神と人間愛が感じられ、私の胸も熱い想いでいっぱいです。

日本を誇る北海道の食を堪能し、一週間かけてでも全て拝見したかった!というのが本音ですが、お忙しい中準備し、発表して下さった先生方に感謝し、またせっかく頂いたこの機会を単発的な感動だけで終わらせぬよう、デイケアでの支援者としての在り方を日々模索しながら今後の支援に活かして参ります。

最後に、今大会の運営・実行委員会の皆さまにはこのような貴重な機会を頂き、感謝しております。大変ありがとうございました。

(医療法人不二尚和会日笠クリニック 精神保健福祉士)

札幌大会印象記

第24回年次大会札幌大会に参加して

舘巖 晶子

私は、北海道立精神保健福祉センターで相談支援業務に携わっております。当センターに寄せられる相談にはギャンブルや薬物を中心とした依存症、思春期・青年期を中心とした学校・職場の不適応、発達障害、摂食障害、自死にまつわる相談などがあります。デイケアは医療機関等での実施が充実してきたことから閉会しましたが、当事者や家族を対象にしたグループ支援は積極的に行っています。

デイケア学会に参加させていただくのは今回が初めてで、職場の心理技術職の先輩からの情報で知りました。プログラムは日ごろの相談支援に活用できる知識や技術を主題にした企画が盛りだくさんで、この機会を逃すわけにはいかないと、先輩と一緒に申し込みました。

今回学びたいと思った技術は、条件反射制御法について、「現場で使える性的逸脱と盗癖への取り組み」を受講しました。条件反射制御法は薬物依存症の治療で注目されているので、どのようなものか知りたいと思っていましたし、当センターの相談の中で数は多くはありませんが、盗癖や、繰り返す性的逸脱行為に関する相談や治療の問い合わせがありますので、治療として医療機関ではどのように対応しているのか、条件反射制御法をどう取り入れているのかを知りたいと思いました。条件反射制御法の開発者である平井先生から学ぶことができ、大通公園メンタルクリニックでの実践報告からは実際の治療について具体的に理解することができ、大変貴重な学びの機会となりました。

また、SSTについて改めて学びたいと思い「現場で使えるSST」も受講しました。以前、摂食の問題をもつ人の家族グループで、当事者への言葉かけをテーマにSSTを試みたのですが、課題となる場面をうまく作れず、

難しいなと思っていました。しかし最近になってSSTの効果あらためて見直す機会をいただき、もう一度学びたいと思っていましたので、私にとってはとてもタイムリーでした。説明を聞きながらのSSTデモンストレーションや演習を通して、生活の中で使える場面がたくさんあると理解しましたし、課題の取り上げ方の工夫も参考になりました。特にグループでの肯定的なフィードバックはとてもいいなと思いましたので、取り入れてみようと思いました。

学ぶことも楽しいですが、会場でのもう一つの楽しみは「お弁当」です。応援ランチョンセミナーでは、依存症などの回復支援を行っている事業所「それいゆ」のお話をお聞きしました。日頃お世話になっており知っているつもりでしたが、より活動を知ることができ、一層の親近感を感じる機会になりました。

会場にたくさんの人であふれていましたが、これまで一緒に頑張ってきた仲間や恩師にもお会いすることができ、エネルギーの充電にもなりました。

最後に、書籍コーナーでパラパラと立ち読みをしていたら、支援者の困るツボをよく知っている販売員さんからおすすめの本を紹介いただき、良い本とも出会えました。

ボリューム満点の学会で、残念ながら聞くことができなかったお話や報告もありましたが、学びと出会いに没頭できる充実した2日間でした。

このような学びの機会をいただくことができ、実行委員の丁寧な準備や企画に、心から感謝いたします。

(北海道立精神保健福祉センター 保健師)

日本デイケア学会役員

理事長：原 敬造

副理事長：五十嵐良雄， 古屋龍太

理事：飯田仁志， 池淵恵美， 稲毛義憲， 内野俊郎， 大嶋正浩， 川寄弘詔，
窪田 彰， 栗原 毅， 佐藤志津， 関 健， 高尾由美子， 富澤宏輔，
西浦竹彦， 長谷川直実， 林みづ穂， 肥田裕久， 平川淳一， 福智寿彦，
藤田 潔， 松永宏子， 三家英明， 百田 功， 横内定明， 横山浩之，
四本かやの， 若松伸宏， 渡邊文宏

監事：坂井一也， 友國由美子

事務局長：林 俊秀

評議員：(地区別， 五十音順)

北海道・東北地区● 稲毛義憲(OT)， 佐藤志津(PSW)， 長谷川直実 (DR) ，
林みづ穂(DR)， 原 敬造(DR)

関東地区● 五十嵐良雄(DR)， 池淵恵美(DR)， 窪田 彰(DR)，
栗原 毅(CP)， 肥田裕久(DR)， 平川淳一(DR)，
古屋龍太(PSW)， 松永宏子(PSW)

中部地区● 大嶋正浩(DR)， 福智寿彦(DR)， 藤田 潔(DR)

北陸・信越地区● 渡邊文宏(NS)， 横内定明(DR)

近畿地区● 富澤宏輔(PSW)， 西浦竹彦(DR)， 三家英明(DR)，
百田 功(CP)， 四本かやの(OT)

中国・四国地区●

九州地区● 飯田仁志(DR)， 内野俊郎(DR)， 川寄弘詔(DR)，
横山浩之(OT)

高齢者全国区● 関 健(DR)， 高尾由美子(PSW)， 若松伸宏(OT)

任期：令和 2 年総会まで

日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、高齢者デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正会員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円(登録者名の変更は適宜可能)

(3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください)

振込先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL & FAX : 03-3813-6368

E-mail : info@daycare.gr.jp URL : http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線 (ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。) -----

入会申込書

(正会員用)

申込日 令和 年 月 日

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	()
--------	---	------	-----

(団体会員用)

団体名		代表者	
-----	--	-----	--

所在地	〒		
-----	---	--	--

種別		TEL	()	FAX	()
----	--	-----	-----	-----	-----

会員登録(計 名) ※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ